

# 学校だより青南

## 7月号

令和4年6月30日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



### 「知識から知恵へ」

校長 野口 直樹

私が担任をしていたころの話です。

子どもたちは、この時期とっても楽しみにしている学習がありました。それは、水泳の時間です。朝から曇り空であったりすると「先生、今日は入れる？」と朝の挨拶もそこそこに話しかけてきます。私は「天気次第だからなあ」と答えます。すると、その会話を聞きつけた子たちも集まり、「えー絶対入ろうよ。大丈夫だよ」と訴えてくるその瞳は、キラキラしてました。思わず「よし、やろう」と言ってしまいそうになります。

それと、同じように当時の子どもたちの関心が高く、ワクワクする学習が、PCを使用した学習でした。Windows95が発売され、学校現場にも次々にPCが導入されていました。私の勤めていた学校にも、児童用20台が配備されました。今のタブレットと比べ、やれることは、そんなにたくさんありませんでした。作曲を試みたり、ペイントで絵を描いてみたりと簡単なことをマウスとキーボードを使って行うそれらの作業に夢中でした。なかでも、画期的だったのが、インターネットでの検索でした。今までは、自分が知りたいことを調べるのに「どのような書籍で」、「どのように調べればよいのか」というところから考え・作業をしていたことが、検索エンジンに言葉を入力することで、事足りるようになりました。当時は、調べたことを印刷するのに制限があり、画面の情報をワークシートやノートに書き写していました。書き写したところで、問題が発生します。内容や言葉が、難しすぎて内容が良く分からないのです。引き続きその分からない言葉を、検索したいところですが、何せ2人一台しかPCが無いので、そこから先は、辞書を使わせていました。普段なら、「えー辞書」という子どもたちも、調べた内容を理解したいという気持ちが高まっているのか、黙々と辞書と向き合っていました。また、自力で手にした「分かった」を伝えたくて、その後の発表の場面でも自分の言葉で説明をする楽しさを味わっていました。

翻って現在。子どもたちには、学習用端末(iPad)が渡され、その活用が推進されています。自分の興味あることを探求していくのにとっても便利なアイテムではあり、主体的に学習を進めていくのにもってこいです。そして、使いこなしていくことがこれからの社会を担う子どもたちには、必要なスキルであると考えられるのですが、気になることもあります。十数年前とは、ネットにあるコンテンツの数も大きく増え、少し難解な事柄でも子どもに分かりやすく説明しているサイトも増えました。こうなってくると、私が担任していたころにあったひと手間(検索内容が良く分からない)がなくなり、より快適に答えにたどり着けてしまいます。試行錯誤することが、省略されてしまうのです。先日、この学習用端末についての記事を目にしました。そこにも、検索結果=答えとなってしまっている現状について書いてありました。

学校では、学習用端末をより有効に使えるように、学習のどの場面で、どのようなアプリケーションを使って行うのかについてICT担当が中心となって、情報発信、研修を行っています。学習用端末を上手に活用し、そこで得た知識を他者との対話や自身で深く考える活動を通して、これから暮らしていく社会で生きる知恵へと進めるていける学習活動が展開できるよう取り組んでまいります。

## 7月の生活目標

### 【整理整頓しよう】

生活指導部

夏が来ます。夏休みもあります。旅行、花火、お祭り・・・楽しいイベントが盛りだくさんな季節です。一方で、1学期の学習のまとめを行う大切な時期であり、長期休業に入る直前の月でもあります。整理整頓は、自分の身の回りのことについてはもちろんですが、学習したことについてもきちんと整理整頓を行いたいものです。7月の目標がなぜ「整理整頓」なのか、その意味を考えて生活できるように指導していきます。

他に気を付けたいこととして、強い日差しと高い気温による熱中症の危険があります。体は資本、命は何より大切なものです。水分補給や服装による体温調節、十分な休養などで熱中症の危険は回避することができます。自分で命を守れるよう指導していきます。

## 運動会

5/28(土)に運動会を実施しました。天気が心配される中でしたが、当日はそんな心配を吹き飛ばすかのような晴天での開催となりました。

今年の運動会のスローガンは「心を一つに全力で みんなが輝く運動会」でした。昨年度と変わり、今年は紅白で分かれ、得点を競い合いながら行いました。また、団体競技も行い、より紅白での競い合いの場が増えました。その中でも、心を一つにし、青南小の全員が全力を發揮し、輝いてほしいという思いが込められています。代表委員会で話し合っとてもいいスローガンが決まりました。当日はスローガンの思いの通りに、全員が輝いた運動会でした。

このような運動会ができたのは、保護者の皆様や地域の皆様の子どもたちへの温かい関わり、PTAのボランティアの方のご協力、6年生の係活動での活躍、そして何より子どもたちの本番までの努力があったからです。青南小に関わる全員の心が一つになって実施できた運動会となりました。たくさんのご理解とご協力、ありがとうございました。

#### 【 4 年 】

1 組 36 名、2 組 35 名、3 組 36 名、計 107 名でスタートした 4 年生です。いつも元気いっぱい、休み時間になると、クラスの垣根なく、楽しく遊ぶ姿が見られます。

「全力」「協力」「貢献」「責任」「楽しむ」という 5 つの言葉をいつも頭に入れて、普段の授業や行事に取り組んでいこうと決めて、日々頑張っています。

先日行われた運動会では、始めにどんな運動会にしたいのか、上記の 5 つのキーワードを基にして話し合いました。その結果決まったテーマが「心を一つに、笑顔と元気をたくさん届ける運動会」。

このテーマに向かって、2 週間精一杯努力し、教え合い、高め合いました。当日は最高の演技を披露できました。本番に最大の力を発揮できる場所も 4 年生の素晴らしさだと感じています。

4 年生は 10 歳になる学年。10 歳と言えば、半分大人とも見ることができます。大きな節目の年、大きな成長ができるように、元気いっぱい、取り組んでまいります。

#### 【 6 年 】

毎日教室に元気な声が聞こえるところが 6 年生のいいところです。

6 年生としての生活が始まって約 3 ヶ月が経ちました。この 3 ヶ月で 6 年生に任された役割を果たそうと一生懸命活動しました。

4 月には、1 年生との関わりがありました。まだ学校生活に慣れない 1 年生に積極的に関わり、1 年生に明るく優しく声を掛けて、安心感のある接し方で関わりました。

5 月には運動会がありました。今年度の運動会は自分たちの演技に全力で取り組みながらも、運動会の運営のために係活動にも取り組みました。とても暑い中でしたが、学校のために汗をかきながら全力で取り組んでいる姿がとても頼もしかったです。

小学校生活最後の 1 年間。学校の支えとなりながらも、思い出いっぱい充実した時間となるよう、これからもみんなで力を合わせて取り組んでいきます。

#### 【 算数 】

算数では、2 年生以上で少人数指導を実施しています。2・3・4 年生は、学年を 5 グループに分け、5・6 年生は、学年を 4 グループに分けて授業を行っています。

算数では、分からない時に「分からない」と言えることを大切にしています。自分が「分からない」と思った時、大抵の場合、同じように「分からない」と感じている友達があります。誰かの「分からない」は、同じように感じている友達の安心につながります。そして、誰かの「分からない」に寄り添いながら、みんなでみんなが分かるようにしていきます。問題文の意味を考える、分かっていることを確認する、ヒントを出す、解き方を説明する…等、一人一人が自分にできることを頑張ります。そうすることで、教室全員の力が伸びていきます。

問題が解けた時の爽快感は、算数ならではのものです。一人一人が「分かった!」「できた!」を感じ、算数の面白さを味わえるようにしていきたいと思います。

### 【 計画委員会 】

計画委員会は、他の委員会のように常時活動がありません。そのかわり、子どもたちがやりたいことを考えたり、行事に関わるスローガン作りなどを行ったりして、学校をより良くするために、また、より盛り上げるために、何ができるかを考えていきます。

1年間、子どもたちがどんなことを考えてくれるのか、これからの活動が楽しみです。今年度は早速、運動会のスローガンを考えました。全校児童のことを考え、話し合う計画委員会・代表委員会の児童の姿はとても逞しいです。

代表委員会では、各委員会の委員長・計画委員・4年生の各クラスの代表委員の計28名が月に一回程度集まり、委員会紹介集会や開校記念集会などの準備をしています。また、青南小のキャラクター「あお・みなみ・さくら」も、開校110周年の際に、代表委員が全校に募集して生まれたものです。今年度も28名で力を合わせ、活動していきます。

### 【 放送委員会 】

令和4年度の委員会がスタートし、朝の登校時間帯に明るい音楽が流れるようになりました。

「みなさん、おはようございます!」

放送委員会の子どもたちが、1日の学校生活の始まりを告げます。毎朝、当番の子が早い時間から放送室に向かい、全校生徒に向けて放送の準備をしています。時間を守り、事前に打ち合わせをすることで、毎日安定した放送活動に取り組んでいます。

給食の時間には、その日の献立や音楽を流す通常の活動に加えて、『企画』を考えることもあります。今年度は早速、先生にリクエスト曲を聞いて流したり、新しく来た先生を中心にクイズなどを作って放送したりする『企画』がスタートしました。今後は、子どもたちの中からリクエストを募るなど、自分たちの生活に関わるような所からも『企画』を生み出して行ってほしいと思います。

全校生徒がリスナーの放送委員会は、今日も元気に放送中です。

### 【 科学・実験クラブ 】

今年度、科学・実験クラブは20名で活動しています。科学・実験クラブでは、年間を通して様々なもの作りや実験を行っています。今年度は、第1回目のクラブで何をやりたいか案を出し合い、スライム、スーパーボール、人工いくら、ブーメラン、ミョウバンの結晶、ハンドクリームなどの活動をする予定になりました。

今年は「水で咲く花」と「しゃぼん玉」の活動をすでに行いました。しゃぼん玉の時には、中屋上で思いっきりしゃぼん玉遊びを楽しみました。最初は上手にできない、と言っていた子も、慣れてくるとたくさんのしゃぼん玉を作ることができ、嬉しそうでした。中には大きなしゃぼん玉を作ることに挑戦していたり、作ったしゃぼん玉を追いかけて割ったりと、それぞれが楽しんでいる様子が伝わってきました。どんな時でも、子どもたちはいつも全力です。成功も失敗も両方あるのが「実験」です。「どうしたらいいのだろう?」「こんなことしてみたいな。」そんなワクワクをいっぱい体感してほしいです。